

教科	芸術	科目	音楽表現	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態			選択

教科書	なし	副教材等	音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社)
-----	----	------	---------------------

1 学習の目標

音楽の幅広い活動のなかで、自らの感性に磨きをかけるとともに、演奏における客観性と多様性を理解し、演奏能力を高めるための表現方法について研究する。また、様々な音楽に対する表現の可能性を探究する。

2 身に付けてほしい力

☐ 学びの価値を重んじる思考力	☐ あきらめずに最後までやり通す忍耐力
☐ 規律やルールを守り、目標を追求する行動力	☐ 多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・ 創意工夫を生かした音楽表現するための技能を身につけ、創造的に表している。 ・ 音楽を表現するための知識及び音楽の多様性などについて理解を深めている。	・ 自分の意図や思いを持ち音楽表現を工夫することができる。 ・ 根拠を持って音楽を聴くことができる。	・ 音楽の諸活動・文化に興味関心を持ち、主体的・協働的に音楽を親しもうとすることができる。
評価の方法	ワークシート 授業観察 実技テスト 小テスト レポート		

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

・ 予習復習の必要はありませんが、身近な音楽に興味関心をもってみましょう。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標（到達点）	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	ガイダンス レクリエーション音楽	音楽を用いた様々な活動について考察・体験をし、日常生活と音楽の関わりについて理解する	ワークシート 課題発表	○	○	○
	5	クラシック音楽鑑賞	多様な音楽作品に触れ、楽曲の特徴や文化的・歴史的背景を理解する	ワークシート	○		○
		ヴァイオリン	ヴァイオリンにふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を習得する。	ワークシート 課題進度状況 実技テスト	○	○	○
	6	音楽理論	音楽的な見方・考え方をするために必要な理論について理解することができる。	ワークシート 小テスト			
	7	創作	身の回りのものを用いてリズムアンサンブルを自己のイメージをもって創作表現を創意工夫し、グループでアンサンブル演奏することができる。	ワークシート 実技発表	○	○	○
	8	音楽と幼児教育	子どもの発達と音楽の関わりを感じながら、歌唱・演奏することができる。	ワークシート 観察・聴取 実技発表	○	○	○
	9						
後期	10	音階	ピタゴラス音律について理解し、実際に音階を作ることができる。また、その楽器を用いて簡単な楽曲をグループで演奏することができる。	ワークシート 観察・聴取 実技発表	○	○	○
	11	標題音楽	標題音楽について理解し、音楽のよさや多様性を深く味わうことができる。	ワークシート	○		○
	12	ヒップホップ 「ラップ」	ヒップホップの特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解し、ラップを創作することができる。		○	○	○
		西洋音楽史	様々な音楽作品と文化的・歴史的な背景の関わりについて理解することができる	ワークシート レポート	○	○	○

*評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

教科	美術	科目	美術表現	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態			選択

教科書		副教材等	
-----	--	------	--

1 学習の目標

- ・発想の広がりを生かし校内装飾をすることで、想像力を養う。
- ・デジタル機器を活用した作画や動画作成を行い新しい表現の可能性を模索する。
- ・発想の広がりや技術力を生かして最後に卒業制作を行うことで日常生活における美術の在り方について学ぶ機会とする。

2 身に付けてほしい力

○	学びの価値を重んじる思考力	○	あきらめずに最後までやり通す忍耐力
	規律やルールを守り、目標を追求する行動力	○	多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	作品の完成度 適切な素材の選定 配色の工夫	表現の独自性	授業への出席 授業への取り組み 忘れ物の有無
評価の方法	作品制作の様子を観察。できあがった作品からも評価する。	提出された作品の表現をみて評価する。	授業マナー等授業への取り組みを毎時間観察し評価する。 また、出席率や忘れ物等も加味する。

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

とにかく授業に出席して、積極的に考えて、アイデアを絞り出すことが大切な授業です。
楽しみながら一生懸命に取り組んでください。。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	素材学	授業へ取り組む姿勢				○
	5	校内装飾	人を楽しい気持ちにさせるための創意工夫 耐久性とクオリティの両立	作品・授業態度 作品	○	○	○
	6				○	○	○
	7						
	8	デジタルイラスト	発送を膨らませ、独創性あふれる作品に仕上げる	作品・授業態度	○	○	○
	9						
後期	10	デジタル動画	オリジナルの絵を題材にした動画を作成	作品／授業態度	○	○	○
	11	卒業制作	卒業をイメージして自分たちの3年間への思いを形にする	作品	○	○	○
	12						
	1						
	2						
	3						

* 評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

教科	芸術	科目	硬筆書写	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態			選択

教科書	教育図書 ぐらしのペン習字	副教材等	
-----	---------------	------	--

1 学習の目標

芸術の教育目標をふまえながら、文字の均整・均衡の美を理解し、文字を正しく美しく、いきいきとした流れや動きの中で安定した文字を書くことを目標とする。更に、日常生活の文字を手書きする葉書や手紙などで文字を美しく書けることを目指す。

①文字（漢字・かな）の表現方法や形式、多様性について幅広く理解し、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。

②書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりする。

③主体的に手書き文字の幅広い活動に取り組み、書を愛好する心情を育み感性を高め、文字を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 身に付けてほしい力

○	学びの価値を重んじる思考力	○	あきらめずに最後までやり通す忍耐力
	規律やルールを守り、目標を追求する行動力	○	多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価（評価規準と評価方法）

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・書や文字（漢字・かな）に関する見方・考え方を働かせて、表現方法や形式、手書き文字の表現の多様性や美しさを感じ取り理解するとともに、工夫して表現するための技能を身に付け表している。	・手書き文字の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自分の意図や感興に基づいて構想し表現を工夫することができる。	・手書き文字を書く喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現し、日常生活の中に取り組もうとしている。
評価の方法	・授業での取り組み ・提出ワーク ・課題レポート		

4 先生からのアドバイス（予習・復習の方法、授業の受け方など）

- ・デジタル機器で作成される書類が多い現代ですが、文字を手書きする場面が全くなくなることはありません。
- ・文字を美しく書くことや、手書きすることの意義を考えて授業に臨んでほしいと思います。
- ・授業に身につけた力を日常生活の中の様々な場面で生かしてください。
- ・ワークを中心とした課題、作品制作に取り組みます。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	○ガイダンス ・姿勢、筆記用具の持ち方	・1年間の学習内容やねらいを理解する。 ・姿勢と筆記具の扱いについて				
	5	○文字（漢字・ひらがな・カタカナ）	漢字の字源を知る 字形・部首 かなの発生 漢字との調和 書写体と活字体	ワークシート 課題レポート	○	○	○
	6	○楷書の基本	楷書の基本点画 筆順の原則 新字体と旧字体	ワークシート 課題レポート	○	○	○
	7	○葉書・封筒の宛名		ワークシート 課題レポート	○	○	○
	8	○履歴書・ポスター		ワークシート 課題レポート	○	○	○
	9						
後期	10	○行書	行書の特徴と基本点画 行書の部首 行書とかなの調和	ワークシート 課題レポート	○	○	○
	11	漢字かな交じり書	詩・俳句・短歌を書く	ワークシート 課題レポート	○	○	○
	12	日常生活への応用 手紙	葉書・封筒に書く 縦書きと横書き	ワークシート 課題レポート	○	○	○
	1	まとめ	手紙用語を知る 手紙の書式	ワークシート 課題レポート	○	○	○
	2						
	3						